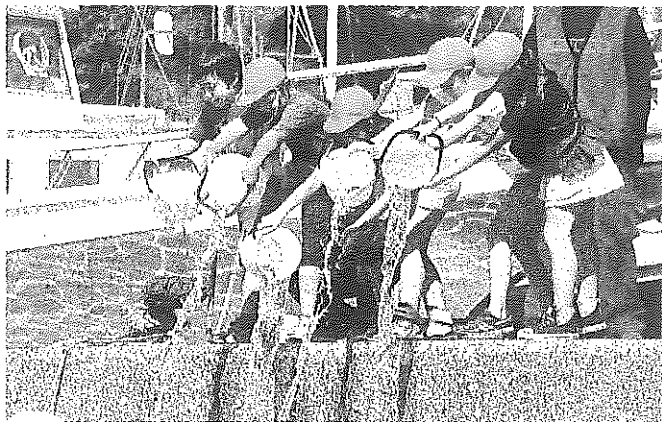


マダイ大きく育て 小網代湾 小4が稚魚放流



岸壁からマダイの稚魚を放流する児童
たち—三浦市三崎町小網代の小網代湾

たちは事前に森や干潟、アマモなどがある小網代の貴重な自然環境や、資源維持のために人為的に放流する意義などを学び、放流に臨んだ。

児童たちは岸壁に立ち、体長7センチほどのマダイが入ったバケツを傾け、放流。ドナルドソン・ジエームス君(10)は「すごく元気でピチピチ跳ねていた。人間の赤ちゃんより速いスピードで3年で大きくなると聞いてびっくりした」。吉田初声里さん(9)は「マダイの赤ちゃんは小さくてかわいかった。小さい割に泳ぎは速かった」と話していた。児童たちは同湾で養殖している真珠を育てる母貝「アコヤガイ」も見学した。

(山本 昭子)

三浦市立名向小学校(同市三崎町諸磯)の4年生約40人が11日、近くの小網代湾でマダイの稚魚の放流を行った。児童らは「大きく育てて戻ってこーい!」と、油壺観光企業組合、県栽培漁業協会が協力した。児童

三浦市立名向小学校(同市三崎町諸磯)の4年生約40人が11日、近くの小網代湾でマダイの稚魚の放流を行った。児童らは「大きく育てて戻ってこーい!」と、油壺観光企業組合、県栽培漁業協会が協力した。児童

漁業協会が協力した。児童